

2025 年度事業計画

はじめに

各国のリーダーが交代するなど、世界情勢が大きく動いている 2024-2025 年の流れの中で、世界の二極化と米中関係の複雑化が進んでいる一方、ポスト・コロナ時代として人々の交流も再活性化してきています。過去を踏まえた新しい日中関係が、両国国民の相互理解の上に築かれていくように、当協会が果たさなければならない役割はより大きくなっています。協会創立 75 年の今、国交正常化前以来と言われる厳しい現状であるからこそ、創始の精神と大いなる期待感を以て、次の時代を切り拓いていかなければなりません。

- ◎新会長指針 ① コミュニケーションの充実と事業共創
- ② 魅力ある事業の実践・拡大・発信
- ③ 組織力強化とマインド改革

多くの仲間と親密に協働して、共に明るい交流を推進していきましょう。

【2025 基本方針】

1. 協会内部、志を共にする協力者とのコミュニケーションを充実させ、機動力のある全国組織としての基盤を固める。
2. 協会の良さを生かせる事業の強化と幅広い世代の参画をスタートに、活動の内容の発信と共有を通じた社会での存在感を高める。
3. 行政や民間企業、日中関係に関心をいただける皆さんからの支援の輪を広げ、それに対応できる各地友好協会や全国本部の機能を補強していく。

【2025 運営方針】

1. 本部委員会の活動を活発化し、それを支える事務局と全国から集まる有志の連携で、事業を遂行するスタイルの確立。委員会出向/実行委員会方式事業の活用。
2. 全国組織としての貢献活動の見える化と寄付制度の整備を行い、公益法人としての継続性と事業遂行力を固めると共に、個々の事業の意義と収支を整理する。
3. 中国側との多面的な交流を、連携するパートナーの志向に合わせて拡大し、日本で最も信頼される団体としての役割を担うことを目指す。

【2025 年度の主要行事】

- ・協会設立 75 周年 (通年)
- ・日中友好都市間交流中学生卓球交歓会 2025 (8 月)
- ・第 18 回日中友好交流会議 in 茨城 (10 月)
- ・戦略的互惠関係の実践に向けて、両国政府が交流を活発化 (2024 年末～)
- ・大阪で 55 年ぶりの万国博覧会 (4 月～10 月)

1. 事業構成（公益事業分類に基づく主要事業）

事業分類 1. 【公 1】 友好促進交流事業

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1－1. 日中友好大学生代表団等の派遣 | (年間 3 回を予定) |
| 1－2. 第 18 回日中友好交流会議 in 茨城 | (10 月 19-21 日) |
| 1－3. 日中友好協会代表団等の派遣 | (年次訪問：11 月) |
| 1－4. その他訪中団等の派遣/共催や支援 | (情報共有・相互参加) |
| 1－5. 中日友好協会代表団等の受入 | (通年、多数を想定) |
| 1－6. その他訪日団等の受入/共催や支援 | (通年、多数を想定) |
| 1－7. 私設奨学金制度支援（民間団体奨学金運営受託） | の募集・選考・派遣 |
| 1－8. 日中友好都市間交流中学生卓球交歓会 2025 | (8 月 3-8 日) |
| 1－9. 地域での日中交流系事業の企画/共催/支援 | (チャイナフェス in○○) |
| 1－10. 各種事業への役員やスタッフの派遣 | (活動の見える化) |

事業分類 2. 【公 2】 中国語/中国文化普及事業

- 2－1. 第 43 回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会
- 2－2. 公費留学生（中国政府奨学金）の募集・選考・派遣
- 2－3. 漢語橋中国語スピーチコンテスト運営受託（第二段階）

事業分類 3. 【公 3】 会報等発行事業

- 3－1. 機関紙「日本と中国」発行事業
- 3－2. 75 周年記念誌「写真でつづる 75 年間の足跡」
- 3－3. 対外向け広報誌検討（季刊）
- 3－4. 会員向け情報の Web 発信・ダイレクト発信
- 3－5. 対外向け発信機能（アプリ等）

事業分類 4. 【収 1】 出版・発信受託事業

- 4－1. 友好手帳 2026 年版の発行
- 4－2. 雑誌「人民中国」の販売

事業分類 5. 【他 1】その他の活動

- 5－1. 2026 年日中友好新年会等の開催
- 5－2. 他友好団体や、民間交流事業への積極的支援（後援、招聘支援）
- 5－3. チャイナフェスティバル 2026 への協力（東京/志願都市）
- 5－4. SNS、アプリ等を使った日中現地情報の流通による相互理解の推進
- 5－5. 協会実務者会議の開催（年 2 回、11 月/2 月）
- 5－6. 講演会や展示会等の開催
- 5－7. 満蒙開拓記念館の見学奨励
- 5－8. 会員活動支援のための情報共有基盤整備（LINE 公式 HP、グループ活用など）
- 5－10. 新しい会員制度の追加検討
- 5－11. 寄付に対応する環境整備・基金の検討

事業分類 6. 【未定】新規事業・調査段階の事業

- 6－1. 民間のスポーツ交流支援の共催事業（事業分類 1－1 1 相当）
- 6－2. 高校生の研修旅行/リモート交流推進（事業分類 1－1 2 相当）
- 6－3. テーマ別訪問団企画（産業・歴史等）（事業分類 5－1 2 相当）
- 6－4. 貢献活動を通じた活動支援と人材育成（追加公益事業を検討）
- 6－5. 各地協会が選択できる共催事業企画（追加公益事業を検討）